

中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価準備書（岐阜県）が公表されました

■ 環境影響評価準備書（岐阜県）について

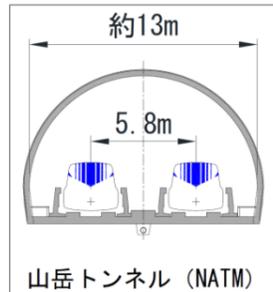
JR東海は、平成23年9月27日に公告した中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価方法書等に基づき実施した環境影響評価の結果を踏まえて、環境影響評価準備書を作成しました。

今後は、引き続き環境影響評価の手続きが進められた後、工事实施計画認可を受け、事業説明会、測量、用地取得や工事説明会などを経て、工事が開始されます。（工事開始までの流れは、広報なかつがわ10月号18ページをご覧ください。）

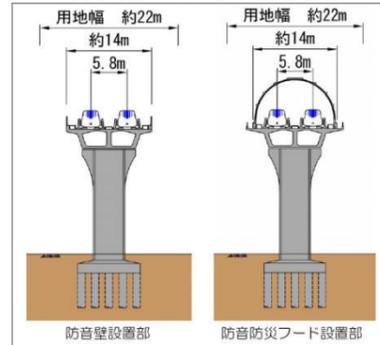
◆岐阜県内の路線と施設

- 長野県境から阿木川までは、木曾川をできる限り短い距離で渡河し、苗木城跡（国指定史跡）、坂本のハナノキ自生地（国指定天然記念物）及びJR中央本線南側の集落、恵那市の中央自動車道以南の中心市街地、恵那峡県立自然公園を回避し、阿木川をできる限り短い距離で渡河する計画とした。
- 岐阜県駅は、JR中央本線美乃坂本駅に近接する中津川市千旦林地区に計画した。
- 中部車両基地（工場）は、恵那峡県立自然公園及び岩屋堂のシデコブシ群生地を回避し、約6.5haで中津川市千旦林地区の丘陵地に計画した。

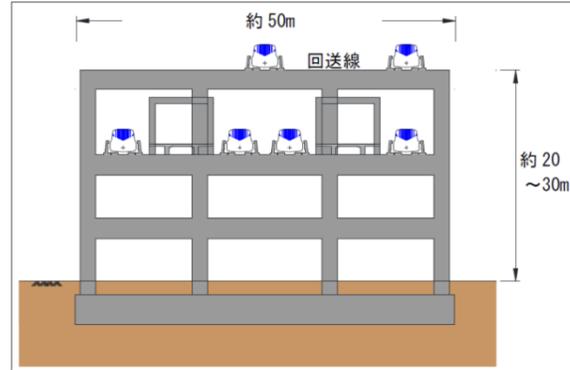
＜トンネルの標準的な断面図＞



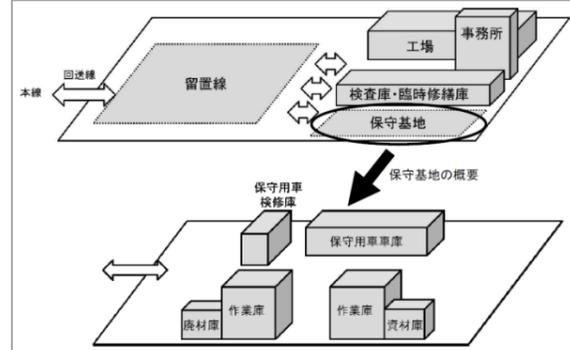
＜高架橋の標準的な断面図＞



＜岐阜県駅の概要＞



＜中部車両基地（工場）の概要＞



※ 路線、駅及び車両基地等の位置については、裏面をご覧ください。

■ 環境影響評価準備書（岐阜県）の縦覧・説明会・ご意見の提出について

JR東海による中央新幹線（東京都・名古屋市間）環境影響評価準備書（岐阜県）の縦覧と説明会が行われます。

《縦覧》

準備書は、JR東海ホームページ（<http://jr-central.co.jp/>）、または下記の縦覧場所でご覧いただけます。

- ◆期間 9月20日（金）～10月21日（月）まで（土・日・祝日を除く平日）
- ◆場所と時間 JR東海 環境保全事務所（岐阜）＜JR中津川駅前 青松ビル2階＞ 9時～17時まで
中津川市 企画部リニア推進課 ＜市役所本庁舎3階＞ 8時30分～17時15分まで

《説明会》

- ◆日時と場所 10月2日（水） 18:30～ 中津川文化会館 ホール
10月11日（金） 18:30～ 坂本公民館 ホール
10月13日（日） 15:00～ 健康福祉会館 多目的ホール
10月14日（月・祝） 15:00～ 坂本公民館 ホール
10月15日（火） 18:30～ 馬籠ふるさと学校 アリーナ

《準備書に対するご意見の提出》

準備書について、環境の保全の見地からご意見のある方は、JR東海あてに意見書を提出することができます。

- ◆募集期間 9月20日（金）～11月5日（火）【必着】
- ◆提出方法 ①インターネットの場合 JR東海ホームページの専用入力フォーム（<https://jr-central.co.jp/public/opinion/input>）
②郵送の場合 下記あて先に氏名・住所（法人・団体の場合、その名称、代表者の氏名、所在地）を記入して送付してください。様式は自由です。
〒108-8799 高輪郵便局留 JR東海 中央新幹線環境影響評価準備書 ご意見受付係

■ お問い合わせ先

JR東海 環境保全事務所（岐阜） 電話 0573-65-6820（土、日、祝日を除く平日9時～17時）
中津川市 企画部リニア推進課・リニア対策課 電話 0573-66-1111（内線323・327）
（土、日、祝日を除く平日8時30分～17時15分）

中津川市長 青山節見

市民の皆様の最大の関心事であったリニア中央新幹線計画の詳細が9月18日に公表されました。これは着工に向けての大きな節目と受け止めており、駅や車両基地が設置される地元市として改めて大きな責任を感じています。

市としましては、地権者や地元の皆様をはじめとする市民の皆様のご理解とご協力をいただきながら、「リニアのまちづくりビジョン」に沿って、中津川市の持続的発展を図るまちづくりに積極的に取り組んでまいります。

また、今後もJR東海により事業着手に向けた手続きが進められていきますが、市としても岐阜県や関係機関と連携しながら、JR東海に対し、事業主体として丁寧な手続き及び丁寧な説明により、関係住民の皆様の不安を取り除きながら事業推進を図っていただくよう要望してまいります。

中津川市議会議長 鷹見憲三

「リニアのまちづくり」というビックプロジェクトが本格的にスタートすることになり、公表された路線・駅・車両基地などの位置、また、テレビ新聞等の報道をみながら子供心のような興奮と感動をおぼえるところです。市議会においては「リニア特別委員会」が設置され35年になりますが、中間駅が中津川に決まったことに対し、これまで誘致活動に携わってこられた先輩議員及び関係者のご努力の賜と感謝申し上げますとともに心から敬意を表します。

この千載一遇のチャンスを活かすためには、市民・行政・市議会など中津川市が一体となり、周辺自治体と連携しながら広域のなかで「リニアのまちづくり」を推進しなければならないと考えます。子供たちが「こんなまちに住みたい」と思えるようなまちづくりを目指し、市民の皆様とともに中津川市議も積極的に参画していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

東濃東部リニア停車駅誘致期成同盟会会長 中津川商工会議所会頭 丸山輝城

我がまちにリニアが来る事が正式決定されました。他の中間駅と異なり、車両基地・車両工場が出来る事に大きな期待を抱くものであります。

中津川も幾多の課題が山積しております。この機会に課題の解決に向け市民総意と英知の結集を期待したいものであります。リニア時代にこのまちを大きく化けさせて行く事こそ子供たちへの責務と考えております。全市民の総力でリニアビジョンに取り組んで行かなければならないと考えます。

このまちの活力を増進させる為には移住、定住が促進されなくてはなりません。産業力の強化、高度医療のまちづくり、教育力の強化向上が欠かせないものと考えます。新しい時代の観光開発も必要であります。車両工場をベースとした産業観光「リニアの見える丘公園」による見る観光などの体験観光も考えられます。この中津川をスマートシティにしていく展望をも具現化していきたいと考えます。

リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会会長 中津川市区長会連合会会長 織田光好

市民の会では、経済界等と協力しながら、市民の皆様がリニア中央新幹線事業に興味を持ち、正しく理解し、盛り上げていけるような取り組みを進めて来ましたが、こうした取り組みもこれからは本番になります。

一方で、この事業は私たちがこれまで経験したことの無いような大きな事業であり、多くの市民が期待とともに不安を抱えているのも事実です。

市民の会では、こうした不安を払拭するための取り組みについても行政やJR東海に働きかけを行い、プラス・マイナスの両面で市民の十分な理解を得ながら、市民一丸となって「リニアのまちづくり」を盛り上げていきたいと考えておりますので、今後とも皆様のご協力をお願いいたします。

環境影響評価準備書で示された市内の路線、駅及び車両基地等の位置

中央新幹線(東京都・名古屋市間)環境影響評価準備書(岐阜県)を編集・加筆

※ これらの図面を含む準備書はJR東海ホームページ(<http://jr-central.co.jp/>)でもご覧いただけます。

